

第1号議案

平成20年度

事業報告書

財団法人 大阪国際児童文学館

<はじめに>

当法人は、設立以来、児童文学・児童文化に関する図書その他の資料の収集保存、活用及び調査研究並びに国際交流に係る各種事業を実施することにより、児童文学・児童文化振興に努めてきた。

平成18年3月に指定管理者の指定を受けて、平成18年度から5年間、大阪府立国際児童文学館の管理運営にあたることとなった。

平成20年度は、児童文学館の管理運営と児童文学等の資料の収集・整理・保存、講座・講演会等の開催、調査・研究事業などを継続的に実施した。また、入館者の増加を図る新たな取り組みとして、書庫などを専門職員が案内する館内見学ツアーを継続的に実施するとともに、「児童文学館へ行こう！」キャンペーンを行い、オリジナルグッズの制作・販売、スタンプ・ラリーの実施などを行った。さらに、子ども読書活動推進事業を文部科学省から受託し実施した。

その他、絵本を通してインドと日本の文化の相互理解を深めるため「インドと日本の絵本」をテーマにしたシンポジウムを開催し、国内外の研究者のネットワーク構築を進めるとともに、国際的な児童文学研究の振興に寄与する「国際グリム賞」の選考を行うなど児童文学・児童文化等の振興に努めた。

経営目標を事業、財務、人事組織の各分野ごとに設け、その実現を図るとともに、児童文学資料の収集・整理・保存・活用機能を維持し、調査・研究については、より利用者ニーズに対応したものに重点化を図り、管理的経費の縮減や、利用者のニーズと意見の把握など経営改善に取り組んだ。

事業目標の分野においては、より利用者満足度の高いサービス提供に努めるため、各種事業におけるアンケート調査の事業への反映や児童文学等に関心を持つ人々や組織との協働による施設・事業運営を行うため、外部の専門家等との共同研究やボランティアとの協働を行った。

財務目標の分野においては、国等の助成資金の活用を図るなど事業費等の確保に努め、財務体質の改善を行った。

人事・組織の分野においては、人事評価を実施したほか、職員研修を計画的に実施するなど人材育成に努めた。

○役員会等の開催状況

1. 理事会

開催年月日	議事内容
20. 5. 31	評議員の選出について
20. 6. 24	(1) 平成19年度事業報告について (2) 平成19年度収支決算について
21. 3. 26	(1) 平成20年度収支予算の補正について (2) 平成21年度事業計画について (3) 平成21年度収支予算について (4) 当館の存続問題について

2. 評議員会

開催年月日	議事内容
20. 5. 26	役員を選任について
20. 6. 16	(1) 平成19年度事業報告(案)について (2) 平成19年度収支決算(案)について
21. 2. 19	(1) 平成20年度収支補正予算について (2) 平成21年度事業計画(案)について (3) 平成21年度収支予算(案)について (4) 当館の存続問題について

3. 運営協議会

法人運営の基本的事項について協議を行った。

第1回 平成20年6月2日

第2回 平成21年2月9日

○事業実施の概要

I 施設の維持管理及び利用促進事業

講堂、セミナー室、特別閲覧室等施設の良い維持管理を行うとともに児童文学等の催し等のために講堂、セミナー室、特別閲覧室を一般の利用に供した。

講 堂	セミナー室	特別閲覧室	計	府費徴収納付額合計
9件	51件	50件	110件	260,060円

II 児童文学等に関する図書、記録その他の資料を収集し、利用に供する業務

1. 資料の収集

資料収集は、①から③に関し、現在出版されている児童書及び研究書を収集するとともに、関連資料についても幅広く収集するように努めた。また、古書について、ホームページ等で提供を働きかけるなど寄贈依頼を積極的に行うことにより、過去発行されて所蔵リストにない学術的に貴重な資料についても収集に努めた。なお、収集について、マンガ本については、子どもの読者を対象としたものに限定するなど収集の精査を行い、外国語資料については、開架用の理論書、絵本等に重点を置いて収集を行った。

- ① 日本及び外国の児童図書
- ② 児童文学・児童文化に関する研究書
- ③ 整理業務及び閲覧に必要な参考資料
(上記についての雑誌、新聞等の逐次刊行物含む。)

(購入資料)

(単位：点)

区 分		前年度までの累計	20年度購入実績	合 計
図 書	和 書	152,483	5,067	157,550
	洋 書	20,981	316	21,297
	合 計	173,464	5,383	178,847
雑 誌		60,604	1,751	62,355
そ の 他		2,077	88	2,165
合 計		236,145	7,222	243,367

(寄贈資料)

(単位：点)

区 分	前年度までの累計	20年度寄贈実績	合 計
図 書	199,864	4,434	204,298
雑 誌	207,281	4,847	212,128
そ の 他	123,754	609	124,363
合 計	530,899	9,890	540,789

2. 資料の整理

購入・寄贈資料について、整理方針に基づき整理を行った。また、書架効率の高い配架と請求記号により閲覧利用の便宜を図るほか、迅速かつ効率的な資料整備を実施し、来館者やインターネット利用者への的確な資料情報提供に努めた。

(資料の整理状況)

(単位：点)

区 分	前年度までの累計	20年度整理実績	合 計
図 書	373,328	9,817	383,145
雑 誌	267,885	6,598	274,483
そ の 他	125,831	697	126,528
合 計	767,044	17,112	784,156

※貸出用資料の破損、複本の活用等による平成20年度までの払出数
72,329点 (現在数 711,827点)

3. 資料の保存

明治期以降の児童図書、少年少女雑誌、同人雑誌、絵本原画、紙芝居等をはじめとする多種多様な所蔵資料の保存環境を整え、利用の便宜を図った。

4. 資料の活用

インターネットを活用し、ホームページにより当館の案内情報を提供するとともに、蔵書の検索、関連機関へのリンク機能などを活用し、広く資料活用の促進を図った。

5. こども室、閲覧室におけるサービスの充実

利用者サービスの拡充に努めた。こども室では多様な読書サービスを提供するとともに、登録者の図書・雑誌の館外貸し出しを行った。

また、当館の第12回手塚治虫文化賞の受賞を記念し、こども室内に「親子で楽しむ手塚治虫」をテーマに、手塚治虫氏の代表的な作品や外国語で訳し発行されているマンガ、参考図書など約550冊を配架したコーナーを設置した。

6. 「レファレンス」サービス

来館利用者及び電話や電子メールなどによる児童文学等に関する文献資料及び情報の紹介・提供依頼に応じるほか、公立図書館・学校などの機関からの照会・相談に応じた。

こども室、閲覧室の利用

月	入館者数	こども室の利用				閲覧室の利用		
		新規登録者数	貸出人数	貸出冊数	レファレンス	入室者数	閲覧冊数	レファレンス
4	6,347	117	473	2,428	22	627	2,868	94
5	5,916	81	450	2,295	32	694	3,745	77
6	4,777	71	450	2,554	21	814	4,673	90
7	4,974	97	443	2,142	30	836	4,331	95
8	3,817	105	465	2,438	46	814	6,261	102
9	4,462	113	444	2,338	42	911	4,380	123
10	6,598	81	417	2,135	45	661	5,003	131
11	8,143	74	400	2,119	44	858	9,173	100
12	3,191	32	299	1,626	35	550	4,290	83
1	3,921	77	375	2,156	50	320	3,475	90
2	5,797	54	264	1,373	11	378	3,646	71
3	6,936	74	474	2,700	29	846	7,582	132
計	64,879	976	4,954	26,304	407	8,309	59,427	1,188

7. 資料の特別貸し出し

公共の機関や団体が展示等必要とする場合に、資料の特別貸し出しを行った。

「フランダースの犬」など主題別展示一括資料による特別貸出を公立図書館等に行った。

貸出件数 35件

貸出資料点数 553点

8. アジアの絵本セットの貸し出し

アジアの子どもの本の現状を子どもにもわかるようにテーマ別等に分類し、解説書等を添付したアジアの絵本貸出セット（「韓国絵本セット」A・B、「中国語圏の絵本セット」）を広く、学校、図書館、読書活動や国際交流活動を行うNPO団体等に貸し出した。

貸出件数 12件（韓国Aセット3件 韓国Bセット1件 中国語圏セット6件
タイセット2件）

※韓国Aセット（76冊。昔話、生活（食べ物、服装、家、子どもの様子、文

字)等5つのカテゴリに分けて紹介。Bセットより子どもを意識した構成)

韓国Bセット(103冊。神話や伝説の絵本、伝統・文化・暮らしがわかる絵本など5つのカテゴリに分けて紹介)

中国語圏セット(112冊。①台湾絵本セット85冊:台湾のことがわかる絵本、民族性、昔話、子どもたちの暮らし・遊び・ゆめ、わらべ歌~現代の詩、空想世界に遊ぶ絵本の6つのカテゴリに分けて紹介。②中国絵本セット27冊:昔話、子どもたちの暮らし、動物や虫がでてくる絵本の3つのカテゴリに分けて紹介。単独でも①②をセットにしても貸出可能。)

タイセット(65冊。伝説や昔話をもとにした絵本、暮らしや生活、自然科学、空想世界に遊ぶ絵本、チーワン・ウィサーサの絵本の5つのカテゴリーに分けて紹介。)

9. 資料複写利用者サービス事業

来館利用者及び当館ホームページ上からの複写申込などにより、利用者の要望に応じ、カラー複写を含む資料の複写サービスを行った。

マイクロフィルム電子印画 及び電子式複写印画 84, 514枚

Ⅲ 児童文学等に関する講座・講演会等の開催業務

1. 講座・講演会の開催

(1) 児童文学講演会

- ①日程 平成20年6月8日(日)
場所 当館講堂
題名 第1部「ちいさい絵本のいま・むかし
ーグリコのおまけ絵本とイギリスのチャップブッカー」
講師 三宅 興子 氏(梅花女子大学名誉教授)
第2部 シンポジウム「大阪国際児童文学館の未来への展望」
発言者 向川 幹雄 氏(大阪国際児童文学館館長)
今関 信子 氏(児童文学作家)
坂田 俊明 氏(文研出版編集部)
コーディネーター 三宅 興子 氏(梅花女子大学名誉教授)
- 参加者数 95名
共催 大阪国際児童文学館を育てる会
- ②日程 平成20年7月16日(水) / 8月2日(土)

場所 日産自動車 本社（東京） / 当館講堂
題名 ニッサン童話と絵本のグランプリ 25周年記念
「創作オープンセミナー 楽しい童話と絵本を生み出すために」
講師 松岡 享子 氏（童話・絵本審査員 東京子ども図書館理事長）
福島 サトル 氏（第20回童話部門優秀賞一席）
ひろい のりこ 氏（第18回絵本部門大賞） 以上 7 / 16
あまん きみこ 氏（童話審査員 童話作家）
屋島 みどり 氏（第19回童話部門優秀賞一席） 以上 8 / 2
参加者数 32名 / 45名
主催 当財団・日産自動車（株）

③日程 平成20年9月6日（土）
場所 当館講堂
題名 日本児童文学学会関西例会講演会
「『鬼太郎』物語の誕生と成長－民話、紙芝居、マンガの世界から－」
講師 姜 竣 氏（城西国際大学国際人文学部国際文化科准教授）
参加者数 26名
共催 日本児童文学学会関西例会

④日程 平成20年11月29日（土）
場所 「絵本編集者に絵本作りを聞く Part2 一冊の絵本ができるまで」
（子どもゆめ基金事業）
講師 喜入 今日子 氏（小学館 児童書編集者）
参加者数 41名

⑤日程 平成21年1月31日（土）
場所 当館講堂
題名 「竹下景子さんと子どもの本を楽しむ
朗読&トーク『本は一生の友だち』」
出演 竹下 景子 氏（女優）
大阪センチュリー交響楽団（弦楽四重奏）
参加者数 96名
共催 大阪国際児童文学館を育てる会

（2）国際講演会

①日程 平成21年3月1日（日）

場所 当館講堂
 題名 シンポジウム「インドと日本の絵本」
 講師 インドラプラMITT・ロイ氏（インドの絵本作家）
 秋野亥左牟氏（絵本作家）
 参加者数 70名

(3) 「本の講座」の開催

「2007年に出版された子どもの本」を紹介、解説する。

日程 平成20年4月27日（日）、4月28日（月）、4月29日（火・祝）
 場所 当館講堂
 題名 紹介と解説 「2007年に出版された子どもの本」
 講師 西村 寿雄氏（科学読物研究会）
 他当館職員
 対象 教員、司書、読書推進関係団体、府民等
 参加者 4月27日 105人 / 4月28日 109人 / 4月29日 91人

2. 事業へのボランティアの参加と協働による事業の充実

(1) ボランティア研修講座の開催

当館おはなし会等への参加実践、こども室行事等についての意見聴取などボランティアとの協働とボランティアを通じた地域の読書支援のために、ボランティア研修講座を開催した。

a スキルアップ講座「こどもと絵本をよむ」		
講 師 当館職員ほか		
平成20年6月10日～11月11日（全5回）	当 館	参加 29名
b おはなし会研修		
講 師 当館職員ほか		
平成20年4月8日～11月25日（全6回）	当 館	参加 29名
c 人形劇研修		
講 師 松本則子（人形劇団クラルテ）		
平成20年11月6日（木）、12月5日（金） （全2回）	当 館	参加 5名

(2) ボランティア自主研修への支援

ボランティア登録者がグループを作って自主研修を平成20年4月15日（火）～

平成21年3月17日（火）までの全4回当館において実施した。職員がアドバイザーとしてそれぞれのボランティアの地域活動に関わる資料支援や助言を行った。

(3) ボランティアの事業への参画

当館のボランティア研修講座及び人形劇講座修了者を中心に希望者を募り、主催事業等への参画を促進した。

- ① 子ども読書の日記念「おはなしのバスケット」等への参加
- ② 「おはなしモノレール」への参加
- ③ こども室行事（おはなし会・おたのしみ会等）への参加
- ④ 団体利用プログラム（人形劇・おはなし会プログラム）への参加
- ⑤ 彩都インフォミュージアムでの人形劇公演
- ⑥ 「2007年に出版された子どもの本」の紹介、解説への参加
- ⑦ 当館事業のチラシの配付を支援・協力

3. 団体利用プログラム等

保育所・幼稚園、小・中学校、高校、養護教育諸学校の団体の来館者を対象に、園児・児童・生徒が楽しく読書をするきっかけづくりや物語の世界にふれ、本への興味や関心を持つためのプログラムの充実を図り、実施することにより施設の利用促進に努めた。府内の保育所・幼稚園、小学校・中学校、高校、養護教育諸学校等に網羅的にチラシを配布し、利用の拡大を図った。

内容：主題別、対象別にプログラムを作成し、実施。

○プログラム利用（平成20年4月～21年3月）

保育園（所）・幼稚園	：	12 団体	632 人
小学生 低学年	：	19 団体	1,468 人
小学生 高学年	：	9 団体	689 人
中 学 生	：	3 団体	111 人
その他の団体	：	8 団体	362 人
		計 51 団体	3,262 人

○こども室自由読書（平成20年4月～21年3月）

11 団体 567 人

4. 見学

希望者に書庫をはじめ館内を案内し、説明するガイドツアーを実施した。従来から実施してきた事前予約のガイドツアーにくわえて、6月から当日参加フリーの見学ツアー<一

般向け（中学生以上対象）と小学生向けも開始した。

事前予約ガイドツアー 91回 1,191人

当日参加フリー見学ツアー（6月から実施）

一般向け : 110回 673人

小学生向け : 49回 372人

合計 159回 1,045人

※ 平成20年6～12月：火曜日・土曜日・日曜日に実施

平成21年1月～ 土曜日・日曜日・祝日に実施

5. 「夢の池劇場」の開催（「子どもゆめ基金」助成事業）

世界のおはなし、アニメーション、人形劇など、親と子どもが楽しめる行事を行った。

①「夢の池劇場2008」		
a「バオバブの木の下で－西アフリカおはなし村から－」＋書庫見学ツアー		
語り 江口 一久氏（国立民族学博物館名誉教授）		
太鼓演奏 河辺 知美氏（太鼓演奏家）、ジョセフ・ンコシ氏（バラフォン演奏家）		
平成20年5月3日（土・祝）午後	当 館	参加 子ども35名 大人48名 書庫見学 13名
b「世界のアニメーション」＋書庫見学ツアー		
協力 ヤマハ・ミュージック・メディア アット・アームズ		
平成20年5月4日（日・祝）午後	当 館	参加 子ども62名 大人65名 書庫見学 12名
c ワークショップ「だってだってのおばあさん」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
講師 土居 安子（当館主任専門員）		
平成20年5月5日（月・祝）午後	当 館	参加 子ども21名
d 人形劇 「だってだってのおばあさん」（「子どもゆめ基金」助成事業）		
上演 劇団うりんこ		
平成20年5月5日（月・祝）午後	当 館	参加 133名

6. こども室行事

子どもが本に親しみ、関心を持つための様々な試みを行い、得られた成果を子ども読書に関わる機関や団体に提示していく。具体的には、子どもと保護者がくつろぎながら、好きなときに好きなだけ本と過ごせるような場を提供するとともに、本との出会いの場としてのおはなしコーナーでの「おはなし会」の開催、物語体験、科学あそび等を行い、ボランティアとともに、読書を楽しむ環境づくりを推進した。

a 3・4・5歳のおはなし会「はるのはなし」ほか		
出 演 当館職員、当館ボランティア		
平成20年4月12日～平成21年3月7日(11回)	当 館	参加 子ども178名 大人137名
b おはなし会「春のはなし」ほか		
出 演 当館職員、当館ボランティア		
平成20年4月13日～平成21年3月8日(19回)	当 館	参加 子ども421名 大人333名
c おはなしのバスケットー太平洋のまわりの国ぐにのおはなしー(子ども読書の日記念)		
出 演 当館職員、当館ボランティア		
平成20年4月20日(日)午後	当 館	参加 子ども33名 大人25名
d ワークショップーおはなしであそぼうー		
講 師 当館職員		
平成20年5月25日～平成21年1月25日(5回)	当 館	参加 子ども66名 大人55名
e 物語体験クラブ「おはなしであそぼう」		
講 師 当館職員		
平成20年7月22日・24日・25日(3回)	当 館	参加 子ども17名
f 科学あそび「つくろう!たのしもう!アニメーション」		
講 師 小谷 佳津志氏(近畿アニメーション協議会)		
平成20年8月16日(土)午後	当 館	参加 57名
g 大型ビデオ上映会「ふしぎなおはなし」		
協 力 ヤマハミュージックメディア、アット・アームズ、レンコーポレーション		
平成20年8月24日(日)午後	当 館	参加 子ども57名 大人45名
h 万博コスモスフェスタ「ことばあそび大会」		
プログラム進行 当館職員、当館ボランティア		
平成20年10月26日(日)午後	当 館	参加 50名
i よみがえる街頭紙芝居ー上演と展示ー		
出 演 三邑会紙芝居師		
平成20年11月2日(日)午後	当 館	参加 子ども35名 大人42名
j 大阪「こころの再生」フェスティバル(ミッフィーとあそぼう・街頭紙芝居の上演)		
出 演 当館職員、三邑会紙芝居師		
平成20年11月8日(土)午前・午後	当館・公園	参加 子ども209名 大人136名
k エコフェスタ in Expo Park ～万博公園で見つけよう!!自然と環境～		
出 演 当館職員		
平成20年11月9日(日)午前・午後	当館・公園	参加 250名

l ことばあそび大会・おはなしクイズにちょうせん		
プログラム進行 当館職員、当館ボランティア		
平成20年11月15日(土)午後	当館	参加 子ども50名 大人38名
m おはなしモノレール(協賛:大阪高速鉄道株式会社、日本万博国博覧会記念機構、阪急電鉄株式会社)		
出演 当館職員、当館ボランティア、人形劇サークル「ばれっと」		
平成20年11月22日(土)午後2回	当館	参加 子ども105名 大人96名
n ことばであそぼう～冬の詩～		
出演 当館職員		
平成20年12月7日(日)午後	当館	参加 10名
o おたのしみ会「せかいのおはなし」		
出演 当館職員、人形劇サークル「ばれっと」		
平成20年12月21日(日)午後	当館	参加 子ども47名 大人40名
p 大阪モノレール公園東口駅「子どもの本コーナー」オープニングイベント		
出演 人形劇団クラルテ		
平成20年12月25日(木)	公園東口駅	参加 子ども76名 大人49名
q カルタとり大会		
指導 当館職員、当館ボランティア		
平成21年1月11日(日)午後	当館	参加 子ども42名 大人見学39名
r 万博記念公園雪まつり「冬のことばをさがそう」		
プログラム進行 当館職員、当館ボランティア		
平成21年2月7日(土)・8日(日)午後	当館	参加 304名 / 417名
s ワークショップ「絵本作家 田中清代さんと絵本を作ろう」(文部科学省委託事業)		
講師 田中 清代氏(絵本作家)		
平成21年2月11日(水)	当館	参加 子ども36名 大人見学26名
t 彩都インフォ*ミュージアム 人形劇「ならなしとり」-日本のむかしばなし-		
出演 人形劇サークル「ばれっと」		
平成21年2月14日(土)午後	当館	参加 子ども35名 大人31名
u 手塚治虫コーナーオープニング記念イベント「マンガクイズにちょうせん」(万博ふれあいの日協賛)		
プログラム進行 当館職員		
平成21年3月15日(日)午後	当館	参加 100名
v ワークショップ「絵本作家 かとうまふみさんと絵本を作ろう」(子どもゆめ基金助成活動)		
講師 かとう まふみ氏(絵本作家)		
平成21年3月21日(土)午後	当館	参加 子ども32名 大人見学37名

7. 所蔵資料の展示

常設展示コーナーに当館所蔵の絵本・児童書・原画等を計画的に展示した。また、当館職員が展示内容についての解説を加えたリストを作成し、来館者に配布した。

- ①「タイの絵本の現在」展 (平成20年4月1日～4月29日)
- ②「村岡花子と『赤毛のアン』」展 (平成20年5月2日～7月29日)
- ③「手塚治虫と幼年漫画の歴史」展 (平成20年8月1日～10月30日)
- ④「大阪発！子どもの文化②—子どもたちが楽しんだ童謡・童話の世界」展
(平成20年11月2日～平成21年3月6日)

※ 展示にあわせて、下記の催しを実施した。

- ・「ギャラリートーク」(加藤理氏〈監修者〉 平成20年11月15日午後 参加者25人)
- 「童謡ミニコンサート」(女声合唱団アンサンブル・アコール 平成21年1月18日午後 参加者60人)
- ⑤「第25回ニッサン童話と絵本のグランプリ入賞作品展」
(平成21年3月7日～3月30日)

また、公立図書館等に貸出するため、当館で行った展示に使用した所蔵資料、解説資料などをパックした展示パック「フランダースの犬」「ピーター・パンの世界」「マザーグース」の利用を呼びかけた。

8. 創作童話・絵本の募集コンクール (協賛：日産自動車株式会社)

創作童話・絵本の募集コンクール「第25回ニッサン童話と絵本のグランプリ」を実施した。

募集期間 平成20年7月～10月
表彰式 平成21年3月8日(日)(当館講堂)
応募数 3,030篇 (童話 2,351篇・絵本 679篇)
後援 文部科学省
大阪府教育委員会
社団法人日本国際児童図書評議会
日本児童文学学会
社団法人日本児童文学者協会

IV 児童文学等に関する調査及び研究業務

1. 共同研究の実施

当館の職員と子どもの本に関わる分野の専門家が学際的に協働し、研究を行った。研究成果については、当館のホームページに登載して広く活用を図った。

○「子どもが利用できる汎用性のある図書検索システム」の研究・開発

当館におけるインターネットによる子ども向けの図書検索システム(「本の海大冒険」「ほんナビきっず」)の活用状況も調査しながら、子どもにとってより使いやすい、効果的なシステムの研究開発を引き続き行った。今年度は、子どもがより楽しんで本が探せるよう、コンテンツの追加作成を行うとともに、ゲーム的要素を盛り込んだシステムの開発を行い、「ほんナビきっず」に搭載した。

当館におけるインターネットによる子ども向けの図書検索システム「ほんナビきっず」を活用した実践事業を行い、活用の現状を把握するとともに、今後の研究に役立てるよう努めた。

「ほんナビきっず」を使って本と出会う

日程：平成20年11月13日(木)

場所：舞鶴市立三笠小学校

対象：小学3年生3クラス(児童数107人)

教科：図書の時間

○「おはなしボランティア支援 読書活動実践データベース」の研究・開発(子どもゆめ基金教材開発普及助成事業)

前年度に開発したおはなし会データベースのプログラム事例をさらに追加し、コンテンツの充実をはかった。

○「インドの子どもの本・絵本」の研究

近年著しい発展をみているインドの絵本について、インドから絵本作家を招聘してのシンポジウムの開催、その記録集およびインドの絵本の現状に言及した論文集の刊行を行った。また、その成果は図書館等に配布するとともに、子ども向けに使いやすくした絵本セットを作成した。

2 明治大正期児童雑誌内容目次データベース作成

当館職員と外部研究者で構成された明治大正期児童雑誌内容目次データベース作成委員会が科学研究費助成を受けて、「少年世界」「少女世界」「幼年世界」の内容目次のデータベースを作成し、当館資料検索システムで公開した。

V 諸外国との児童文学等に関する資料及び情報交換業務

1. 国際交流事業「インドと日本の絵本」

平成15年度まで実施してきた「外国人客員研究員招聘事業」の成果を継承しつつ、幅広い人たちに興味や関心を持ってもらうことのできる「絵本」をテーマに、アジア

地域における児童文学先進国を重点的にとりあげる新しい事業を平成17年度から開始した。韓国、中国語圏（その1、台湾）、タイに引き続き、「インドの絵本」をテーマとした事業を外部研究者らを交えたプロジェクトチーム（三宅興子氏、黒川妙子氏、及び当館職員）を構築、座談会を行うなど絵本を通してインドと日本の文化の相互理解を深めた。国内外の研究者のネットワーク構築に寄与し、児童文学及び児童文学研究の促進を図った。

(1) プレ研究会の開催

日程	平成21年1月24日（土）
場所	当館セミナー室
題名	シンポジウム「アジアの絵本の世界へようこそ インドと日本の絵本」 プレ研究会
講師	三宅興子氏（梅花女子大学名誉教授） 黒川妙子氏（インド文化研究者・国際識字文化センター事務局長） 土居安子（大阪国際児童文学館専門員）
参加者数	22名

(2) シンポジウムの開催

日程	平成21年3月1日（日）
場所	当館講堂
題名	シンポジウム「インドと日本の絵本」
講師	インドラプラMIT・ロイ氏（インドの絵本作家） 秋野玄左牟氏（絵本作家）
参加者数	70名

(3) 論文集 「インドと日本の絵本」シンポジウム報告、インドの絵本についての研究
論文集の発行

「絵本」や「インド」に対する理解を深め、同分野の研究促進を図るため、座談会の記録に加えて、「インドの絵本」というテーマで複数の論文を一冊の論文集にまとめた。論文集は府域図書館・国内外研究機関等へ配布を行った。

(4) 貸出用絵本セット(インドの絵本)の作成

「インドの絵本セット」を作成し、平成21年5月より希望する学校、公共図書館、ボランティア団体等への貸し出しを行えるようにした。

(5) おはなし会等の開催

子どもを対象に、インドの絵本を題材にした「おはなし会」などの催しを開催した。

松下電器産業㈱、ムサシ・アイ・テクノ㈱>

2. 資料、情報交換

当館の活動及び日本の児童文学の状況について紹介した「IICLO REPORT」(英文レポート)を電子メール等で、海外の児童文学専門機関等に提供するとともに、ホームページで情報を提供した。また、海外の関係機関と資料、情報の交換を行った。

対象機関

国際青少年図書館（ドイツ）、
浙江師範大学（中国）、
世界華文児童文学資料館（台湾）、
スウェーデン児童文学研究所（スウェーデン）、
ジェノバ市立国際児童図書館（イタリア）、
児童文学研究所（フィンランド）、
ライデン大学（オランダ）、
国際シャルル・ペロー研究所（フランス）、
アメリカ議会図書館（アメリカ）、
セブンスターリーズ（イギリス） 等

3. 国際児童文学研究賞事業（財団法人金蘭会共催）

世界の児童文学研究に貢献する人々の業績を顕彰することにより、国際的な児童文学研究の振興に寄与する。

平成20年度は、第12回受賞者の選考を行った。

名 称	「国際グリム賞」		
アンケート	発送	平成20年	9月28日
	締め切り	平成20年	10月31日
選 考	第1次選考会議	平成20年	12月14日
	第2次選考会議	平成21年	3月12日
受賞予定者	神宮輝夫氏（日本）		

4. 他団体による国際交流イベントとの共催・参加

建国大学（韓国）の「童話と翻訳研究所」から学术交流の申し出を受け、国際的なシンポジウムを開催し、日本の児童文学の振興に努めた。

名称：国際学术交流研究大会「日本と韓国から見た宮澤賢治童話の世界」

会期：2008年6月14日（土）

会場：建国大学（韓国・ソウル）

主催：建国大学〈童話と翻訳の研究所〉

VI これらのほかに目的を達成するために必要な業務

1. 情報発信・広報事業

(1) ホームページの内容の充実

よりわかりやすく、充実したホームページとなるよう、サイトを全面的にリニューアルした。「資料の検索」へのダイレクトメニュー、利用案内、事業案内、事業報告、複写依頼、貸出予約等、内容の充実に努めた。

その他、次のことを行った。

- ①資料の検索サービスの充実、管理・運営
- ②「本の海大冒険」等、デジタルコンテンツの管理・運営
- ③当館の事業、研究成果などの紹介
- ④国内の児童文学・児童文化関連事業の収集・発信

「アクセス数」 165,084件

(2) 対外的なシステム（組織）との連携

①「大阪府内図書館横断システム」の活用

府内の主要な大学（園）や公立図書館が参加するシステムのデータベースを活用し利用者への情報提供に努めた。

②児童書電子総合目録の活用

当館のほか、国際子ども図書館など国内の主要な児童書保有機関が運営する「児童書電子総合目録」を活用し利用者への情報提供に努めた。

③WEBCAT「全国大学図書館横断検索システム」の活用

約1千館の大学図書館及び都道府県立図書館が参画する国内最大の学術データベースを事業に活用した。

(3) 報道機関等への積極的な情報提供

- ①報道機関等へ催し等について積極的に情報提供を行うほか、広報媒体への資料提

供を積極的に行い、従来からの広報媒体や新聞各紙、各団体 HP による紹介に加え、雑誌等への情報提供にも務めた結果、掲載回数が非常に増加した。

宛先

ア「万博公園だより」	(独) 日本万国博覧会記念機構
イ「大阪モノレール沿線案内(車内ポスター)」 及び「モノレールプレス」	大阪高速鉄道(株)
ウ「えるプラザー」、「えるこみ」	サンケイリビング新聞社
エ「大阪観光イベント情報」	(財) 大阪観光コンベンション協会
オ「市報すいた」「もよおしいろいろ」	吹田市
カ 大阪府WEB情報局、府教委ニュース	大阪府
キ 在阪テレビ局、在阪新聞社	
ク Lマガジン	京阪神エルマガジン社
ケ AERA with Baby	朝日新聞社

ほか

② 府域のボランティアグループ(※)に対して、大阪府子ども読書活動推進連絡協議会で行う講演会等の情報提供を行った。

※協議会の読書活動に関わる調査時に情報提供を希望したグループ(メールアドレスを持っている代表者 82 名)

(4) 「児童文学館へ行こう」キャンペーンの実施

新たなキャンペーンを実施し、様々な取り組みにより入館者の増加に努めた。

① スタンプ・ラリー

当館のこども室イベント・展示クイズ等に参加した子どもにシールを台紙に貼って「しおり」とし、プレゼントした。

実施日：平成 20 年 7 月 20 日～10 月 30 日

実績：414 名

② オリジナルグッズの制作・販売

当館ゆかりの画家デザインのオリジナルグッズ(缶バッジ・缶マグネット)を制作し、販売した。

実施日：平成 20 年 10 月 10 日販売開始、12 月 9 日追加制作分販売開始

実績：セット販売 1,834 セット、個装 1,221 個

③ 文学館行き方MAPの制作

最寄り駅から当館までのコースについて、当館支援者のデザインによる地図を制

作し、ホームページに掲載するとともに、ちらしを近隣駅、公園内及び近隣の各施設等に設置した。

(5) 大阪モノレール公園東口駅構内「子どもの本コーナー」設置への協力

①概要：大阪モノレール公園東口駅構内子どもの本コーナー「よモノん」設置に協力。絵本など316冊を配置し、読書スペースで自由に利用していただく。あわせて、館への道順、行事案内など広報スペースとして活用。

②オープニングイベントの開催

12月25日(木) 午前10時30分～午前11時40分

くす玉割り 駅長と子ども代表3名

人形劇 人形劇団「クラルテ」公演

演目：「だぶだぶ仲間森へいく」「でぶでえんとのおぼおん」

当日参加者数 155名

(6) 外部の事業への参加等による情報発信、広報

他団体主催の事業に積極的に参加し、館事業の情報提供に努めた。

①東京国際アニメフェア 2009

当館広報のため、次のイベントにブースを開設した。

会期：2009年3月18日(水)～21日(土)

会場：東京ビッグサイト

主催：東京国際アニメフェア実行委員会

来場者：129,819人(4日間総計)

2. 特別研究員制度の活用

外部の研究者と新たなネットワークを築くとともに、当館の資料の活用を図るため、平成18年度に募集した館外の研究者に当館資料を用いた研究成果を当館の「紀要」等への投稿、展示等の企画・運営、講演会の開催等により、公表してもらう。

・加藤 理

期間：前期と後期

テーマ：誕生期「児童文化」の概念と活動の研究

還元：展示の企画・監修(平成20年11月2日～平成21年3月6日)

「大阪発！子どもの文化②—子どもたちが楽しんだ童謡・童話の世界」展

ギャラリートークの実施(平成20年11月15日)

3. 文学館レポートの発行

「大阪府立国際児童文学館REPORT」（和文・英文）の発行

4. 出版・編集事業の実施

児童文学・文化振興のため、次のとおり出版・編集事業を実施した。

- ・第24回ニッサン童話と絵本のグランプリ童話大賞受賞作品

「春になったらあけてください」

- ・第24回ニッサン童話と絵本のグランプリ絵本大賞受賞作品

「モイモイのポッケ」

BL出版（株）と提携 平成20年12月刊行

Ⅶ 大阪府子ども読書活動推進事業

文部科学省の委託事業を大阪府子ども読書活動推進連絡協議会が企画運営を担当し、関係機関・団体と連携協力しながら実施した。なお、事務局は財団法人大阪国際児童文学館が担当した。

文部科学省委託事業「子ども読書応援プロジェクト」

A. 「親子で取り組む読書活動の推進に関する調査研究」事業

1. 実行委員会開催

開催日：2008年9月26日（金）、10月23日（木）、11月13日（木）

参加者：豊能町立図書館職員、ボランティア、
大阪府子ども読書活動推進連絡協議会会員

場 所：豊能町立図書館

2. 連続講座開催：「ゆっくり子育て」講座

第1回 日 時：2009年1月22日（木）13:30～15:30

場 所：豊能町立図書館集会室

講 演：「赤ちゃんと絵本を楽しむ」

講 師：渡辺順子さん（すずらん文庫）

参加者：45人（保護者・ボランティアの方など）

第2回 日 時：2009年2月12日（木）10:15～12:00

場 所：豊能町立図書館集会室

講 演：「赤ちゃん絵本で子育て支援」

講 師：吉見和美（豊能町立図書館）

尾崎ゆかり

（豊能町地域子育て支援センターすきっぷ）

藤岡恵子（豊能町保健センター）

土居安子（財団法人大阪国際児童文学館）

参加者：21人（ボランティアの方など）

3. 啓発リーフレット「親と子が楽しむはじめての絵本」印刷・配布

部 数：45,000部

配布先：保健センター・図書館等

B. 「青少年のためのオーサー・ビジット」事業

1. 実行委員会・打合せ開催

①開催日：2008年11月13日（木）

参加者：大阪府子ども読書活動推進連絡協議会会員

場 所：豊能町立図書館

②開催日：2008年12月8日（月）

参加者：箕面市立第一中学校教諭、同学校司書、箕面市立第二中学校学
校司書大阪府子ども読書活動推進連絡協議会会員

場 所：箕面市立第一中学校

③開催日：2008年12月17日（水）

参加者：講師・花形みつる、大阪府子ども読書活動推進連絡協議会会員

場 所：東京都渋谷区

④開催日：2008年12月17日（水）

参加者：講師田中清代、大阪府子ども読書活動推進連絡協議会会員

場 所：相模原市藤野

⑤開催日：2009年2月5日（木）

参加者：箕面市立第二中学校教諭、同校司書、大阪府子ども読書活動推
進連絡協議会会員

場 所：箕面市立第二中学校

⑥開催日：2009年2月9日（月）

参加者：箕面市立第一中学校教諭、同校司書、大阪府子ども読書活動推
進連絡協議会会員

2. オーサー・ビジット実施

①日 時：2009年2月11日（水）14:00～16:00

場 所：大阪府立国際児童文学館講堂

講 師：田中清代（絵本作家）

参加者：小学生 36人

内 容：持参した野菜を主人公にした見開きの絵本を制作し、発表を行
い、田中さんが講評をした。

- ②日 時：2009年2月12日（木）6限目
 場 所：箕面市立第二中学校3年生教室
 講 師：花形みつる（作家）
 参加者：中学年3年生1クラス 33人
 内 容：事前に「アート少女」を読み、当日、花形さんから登場人物の紹介を聞いた後で、生徒が登場人物へのメッセージを書いた。最後にメッセージを紹介し、花形さんがコメントと創作の工夫等を話した。
- ③日 時：2009年2月12日（木）放課後
 場 所：箕面市立第二中学校図書館
 講 師：花形みつる（作家）
 内 容：花形さんを囲み、創作や読書等について質疑応答を行った。
- ④日 時：2009年2月13日（金）1～3限目
 場 所：箕面市立第一中学校視聴覚室
 参加者：202人
 内 容：事前に「アート少女」を読み、当日、花形さんから登場人物の紹介を聞いた後で、生徒が登場人物へのメッセージを書いた。最後にメッセージを紹介し、花形さんがコメントと創作の工夫等を話した。

C. 「子ども読書応援団派遣」事業

1. 実行委員会開催

開催日：2008年12月2日（火）

参加者：森崎シヅ子（研修講師）、大阪府子ども読書活動推進連絡協議会会員

2. 研修開催

第1回 日 時：2009年1月7日（水）10:00～16:00

場 所：大阪市立中央図書館大会議室

講 師：森崎シヅ子（熊取文庫連絡協議会代表）

講 演：「中学生におはなし・絵本をとどける」

参加者：98人

内 容：講師のはなしを聞き、中学校で実施するおはなし会のプログラムに関するワークショップを行った。

第2回 日 時：2009年1月8日（木）10:00～16:00

場 所：大阪府立国際児童文学館講堂

講 師：第1回と同じ

講 演：第1回と同じ

参加者：50人

内 容：第1回と同じ

3. おはなし会実施

大阪府内15市町、中学校36校でボランティアによるおはなし会を実施
(事前に打ち合わせを実施)

D. 活動報告・講演会・交流会開催

場 所：ホテルアウィーナ大阪

日 時：2009年2月26日（木）13:00～16:30

内 容：

第1部 活動報告

報告者：

「乳幼児と絵本」に関する講座

土居安子（大阪国際児童文学館）

「オーサー・ビジット：花形みつるさん」

東谷めぐみさん（箕面市立第2中学校学校司書）

「オーサー・ビジット：田中清代さん」

土居安子（大阪国際児童文学館）

「中学生におはなし・絵本をとどける」（同上）

第2部 講演会「10代の子どもの本を書く」

講 師：花形みつるさん（作家）

第3部 交流会

子どもの読書活動にかかわる人たちで情報交換し、交流を深める

E. 報告書作成

内 容：2008年度の活動報告、講演会概要、中学校でのおはなし会事例報告等

部 数：600部

配布先：府内の図書館、関係機関・団体など